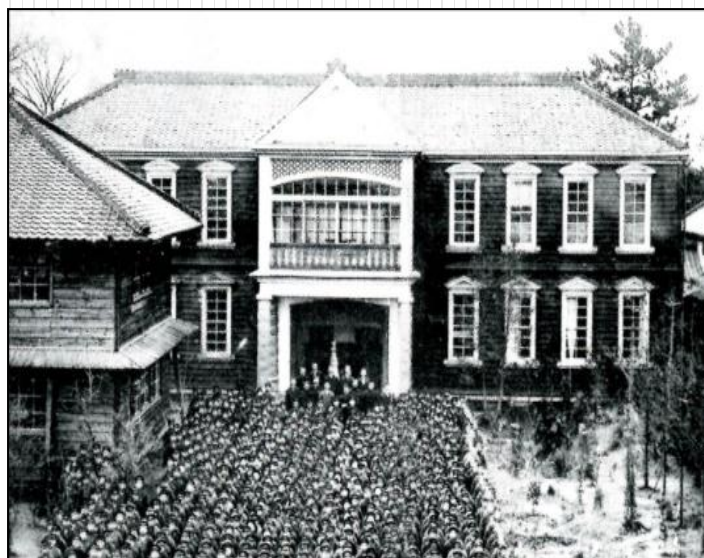


# 津島南小学校の歴史



浅井 厚視

問① 津島の方言です。何のことかわかりますか。

方言	共通語	方言	共通語
ばんげ		ぎゃあろ	蛙
おちょくる		どべ	最後
おそがい		めめぞ	みみず
だだくさ		とろくさい	馬鹿馬鹿しい
つつない		ぬくとい	
ちゃっと	すぐに	こんきに	度々
やっとかめ	久しぶり	だんだ	風呂

②愛知県では明治の初めに『義校』という名前の学校がつけられた。○か×か。

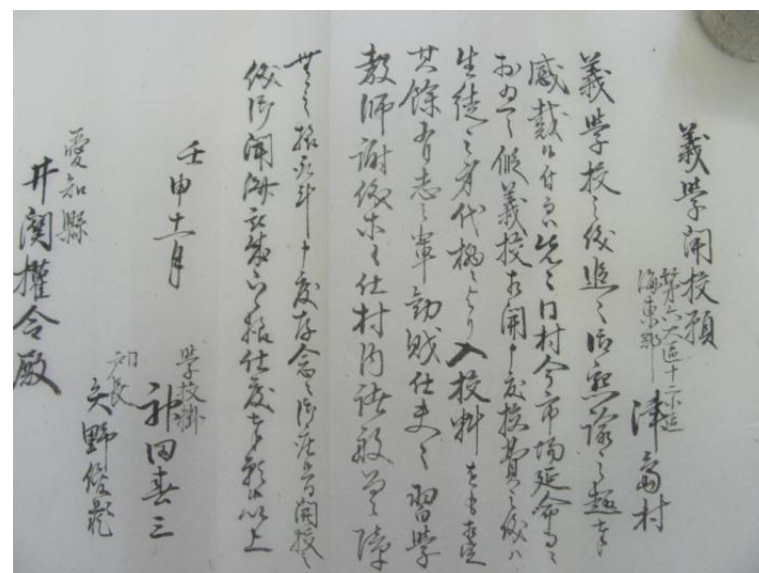
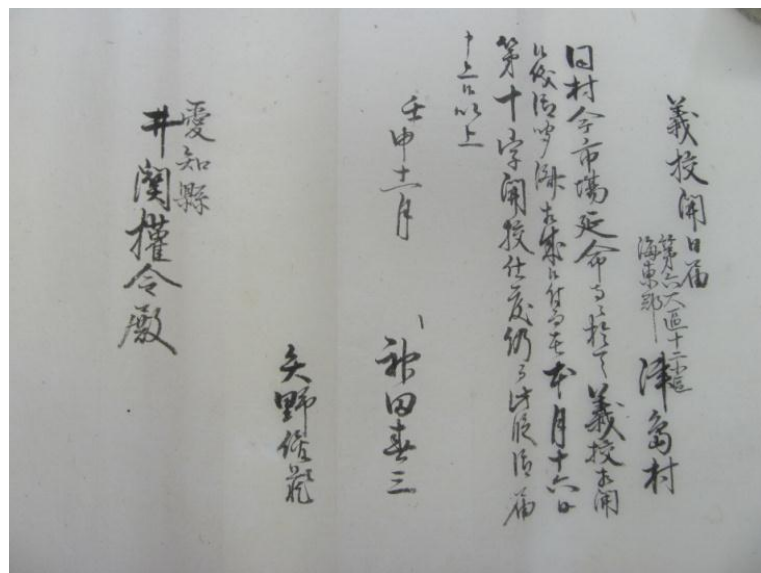
明治4年（1871）

愛知県では「義校大意」という条例によって、地域住民の協力によって『義校』という名前の初等学校がつけられていった。この考え方は「被仰出書」（おおせいでられしょ）と同じ考え方に立ち、学制発布以前に県内428校の義校が開設されていった。岐阜県においても学制発布後に義校がつけられ、全国的にみて、愛知県と岐阜県のみ義校がつけられました。

『小学教方筈蹄』  
しょうがくおし  
えかたせんてい



# ③津島の『義校』は西御堂町の西福寺につくられた。○か×か。



義校開日届 第六大区十二小区 海東郡 津島村

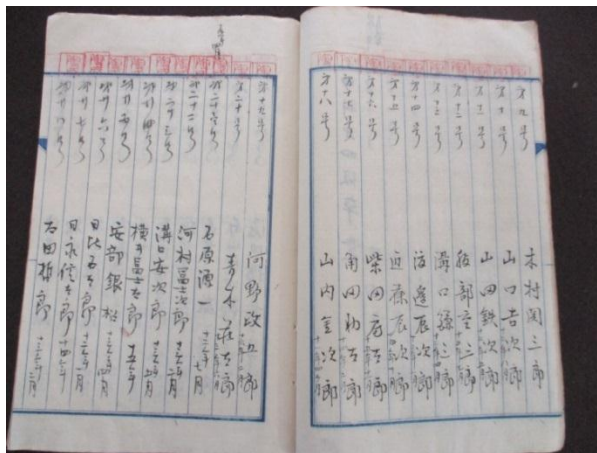
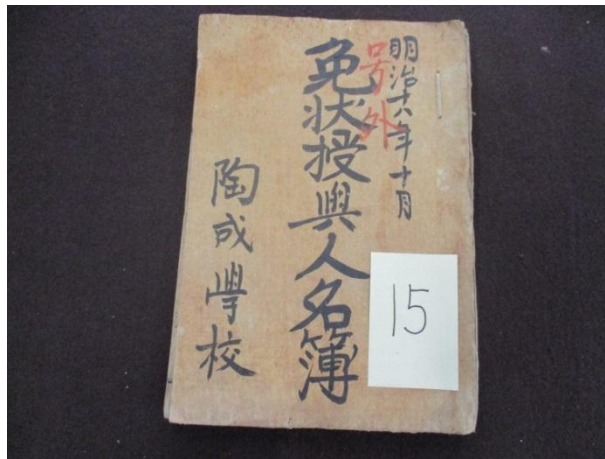
同村今市場延命寺に於いて義校相開候儀御吟味相成  
候 付而者本月十六日第十字開校仕度 仍而此段御届  
申上候以上 壬申十一月 神田喜三 矢野俊蔵

愛知県 井関権令殿

ちなみに西御堂町西福寺につくられたのは、海東・海西共立陶成学校でした。

## 免状授与人名簿 陶成学校 明治18年

追吊（弔ちょう）会当日の光景  
明治41年12月27日  
懐かしの西福寺・・・今日は恩師追弔のために、久しぶりに西福寺を訪ねた。寄棟の堂の昔の姿は今はない。厨屋（くりや）の方の玄関も取替えられ、境内の様も大きく変わった。なんとなく見廻して、懐旧の情が胸にいっぱいとなった。ああ、懐かしい西福寺。



④休み（休憩）時間のことを『放課』というのは愛知県のみです。○か×か。

### 津島市内の義校

第3	義校	(神守・吉祥寺)	先議学校
第4	義校	(葉苅・平野家富宅)	
第1	義校	(津島・延命寺)	擇善学校
第1	義校	(津島・雲居寺)	春朗学校
第2	義校	(唐臼・安詫寺)	唐臼学校
第6	義校	(越津・大鹿泰弥宅)	
第6	義校	(宇治・福祐寺)	
第6	義校	(百町)	
第6	義校	(蛭間・大徳寺)	有餘学校
第6	義校	(牛田)	
第6	義校	(莪原・長光寺)	
第6	義校	(金柳)	開祚学校
第6	義校	(向島・祢宜町)	協同学校

場所	数
寺院	4 1
個人宅	1 8
不明	4

教師数	数
1	1 5
2 ~ 3	1 2
3 ~ 4	2 1
5 ~ 6	1 1
7 ~	4

# ちなみに愛知県義校規則の細かなきまりは？

- ・ 午前8時より午後3時まで
- ・ 5日以上欠席届け出る、退校・転校は書面・学校へ来たら先生や友達へ一礼
- ・ 学課は句読、習字、算術、暗踊（文の暗記）無等5等・4等・・1等までの6段階
- ・ 雑談の禁止、立ち歩きの禁止
- ・ 毎月謝金4銭 兄弟がいる場合弟は2銭
- ・ 毎日午前10時～11時、午後12時～1時放課
- ・ 毎月1日と6の日（6・16・26）休日
- ・ 毎年1月8日より12月25日まで休み
- ・ 態度の悪い子どもは逗校禁足
- ・ 門に義校の表札



⑤津島南小の前身は雲居寺と延命寺の義校である。  
○か×か。

明治5年4月 2つの義校（雲居寺・延命寺）

明治5年11月 義校開設届

第6大区 11校 津島村

今市場・延命寺仮義校生徒数人数

生徒数 男子113人 女子67人

計180 教官 若山東庵

明治6年10月 春朗学校（雲居寺）

擇善学校（延命寺）

第6大区 14校 津島村

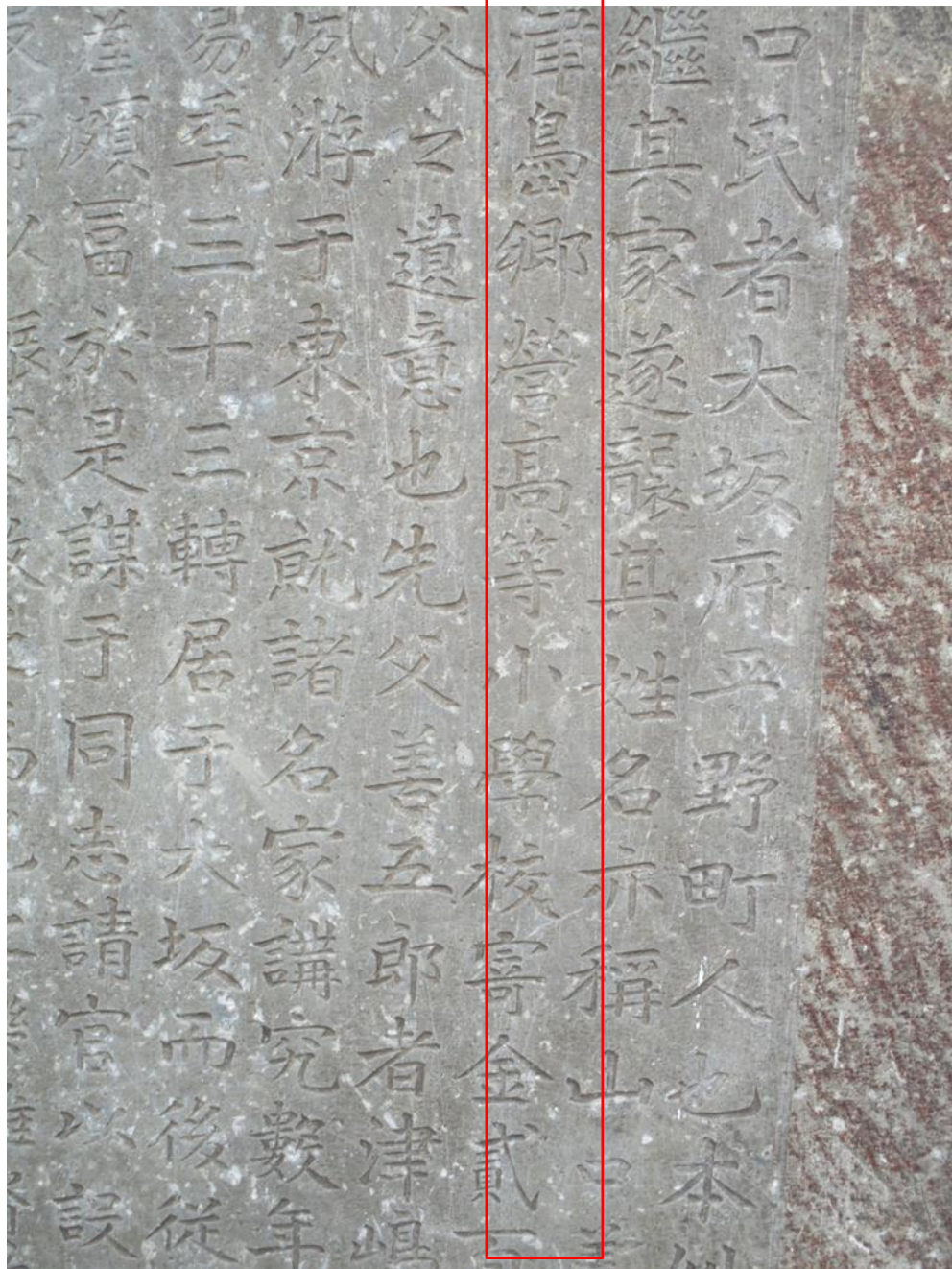
北口・雲居寺仮義校生徒人数

生徒数 男子135 女子87人

計222 教官 堀田 一記







⑥南小の運動場の南西に、津島高等小學校建築の記念碑がある。○か×か。

- 山口氏賜金碑
- 碑」が傾いて立っている。大阪の山口善五郎氏が貳百円の寄付金を津島郷学高等小學校に寄贈したことが記されている。



# ちなみに津島高等小學校とは

津島高等小學校は、明治13年（1880）津島村西福寺に設立された陶成学校（教員養成学校）を始めとします。西福寺の本堂を教室に使い、1学年修了男子のみ40名の学校でした。卒業後2年間は、海東郡海西郡で教員をすることが義務づけられていました。



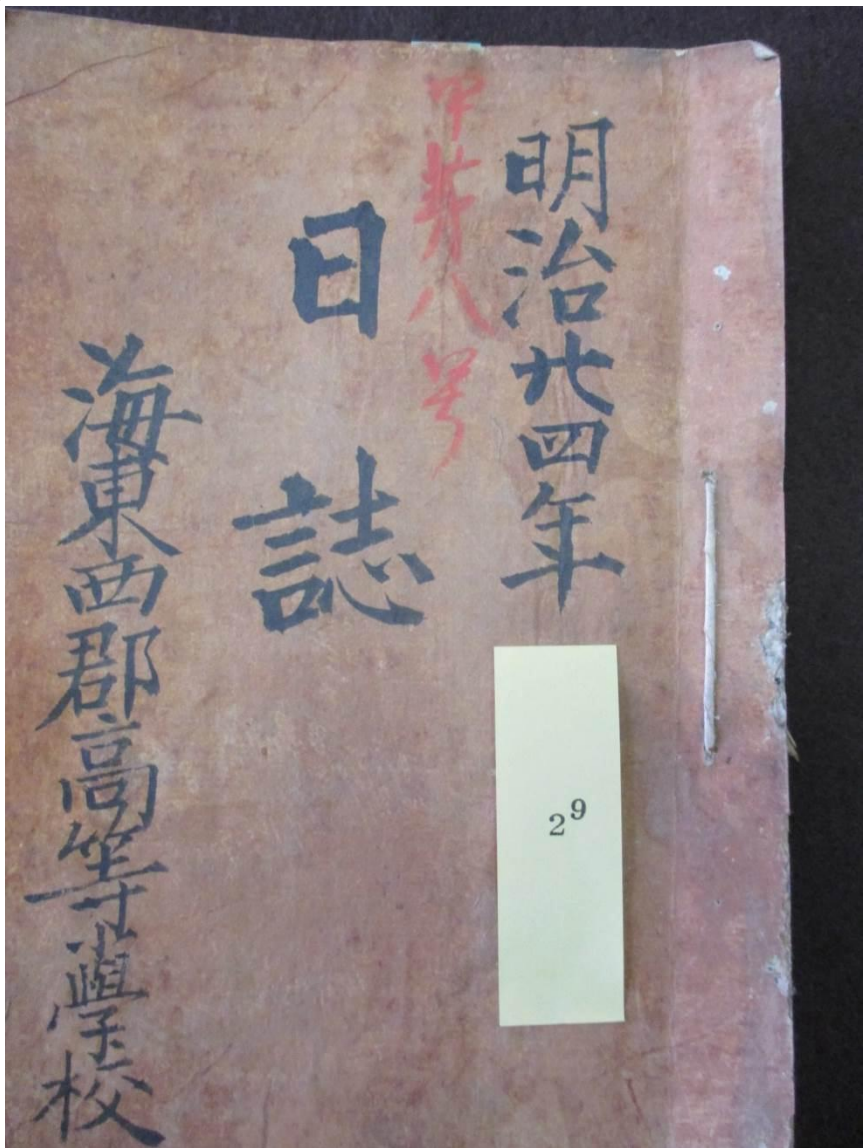
是し  
当時の  
津島の  
西福寺の  
本堂の  
写真である。



津島高等小學校 第一回卒業生 明治20年（1880）2月

明治20年（1887）陶成小学校は海東郡海西郡立津島高等小学校（第一高等小学校）となり津島村今市場に、その分校が前ヶ須（弥富）に設けられました。第二高等小学校が蟹江に、第三高等小学校が甚目寺に開校しました。そして明治31年（1898）、津島女子高等小学校が津島高等小学校から独立して、つくられました。

明治26年からは海東郡39ヶ町村組合立高等小学校となっていたが、町村合併が進み、明治42年3月に組合は解散、学校も廃校となった。今回の史料は明治24年の学校日誌で、海東・海西両郡の高等小学校と位置づけられている。



海東西郡高等小學校  
日誌 明治廿四年

壽  
前復校 倒覆  
經江分校 大破壊  
甚目責校 燒失

日記  
十月廿八日 水曜 雨 午前六時十分 大地震 初本校舎は  
斜に寄寄舎舎倒但十名ノ生徒ニ  
微傷モ無キ  
午前六時二十分頃山田久恒氏才生松  
木打敷通ト共ニ運初物案全ノ地  
方ニ遷ニ寄寄生ニ名助セリ  
校田郡長橋向列氏依野新元  
橋該院服中海内江諸氏  
職多一門出頭但石里氏ハ不出  
運初物案全ノ地

十一月三日 水曜 晴  
巡視文部省視学官松田氏午前七時本校  
校舎ニ上非常お秀集ノ空月セリ廿廿九  
日夕生ケラ去リ  
貸貸持多四脚ノ毎ニ遊街ノ空冥ヤ  
押貸多ノ十時本校校舎ノ神田神社向テ天  
長節祝會ヲ設キ其儀ハ以前ノ様ナリ  
但非常非常雨氏ニ名

十一月四日 水曜 曇  
出頭多九時一白之野口比伴友輝村江場  
水口北室諸氏會合授學弟白澤平備  
室ニ概簡ノ上寄寄舎ノ片付ケ路ニ在リ  
甚ニ六ノ成ニ在リ  
宿泊日比尋お水口分ノ後ニ在リ

生徒ニ年會セシニ凡二十名  
見拜政信以河島謙三雨氏  
宿泊日比尋お水口分ノ後ニ在リ  
郡達湯敷使來河川村キ寄依ニ法隆持ニ在リ  
其後計告政衛子ナリ

# 明治24年日誌海東西郡高等學校日誌

十月二十八日 水曜日 雨午前十時曇  
大地震 午前六時五十分大震動 本校  
舎傾斜シ寄宿舎全倒 但十八名ノ生徒  
ニハ微傷モナシ

御真影 午前六時二十分頃 山田久恒  
氏来校磯村義通ト共ニ運動場安全ノ地  
ニ奉還ス 寄宿生二名助手セリ

登校 職員一同出頭 但シ一名不出  
仮屋運動場玄関処ニ設ケ 炊事場ヲ其南  
ニ置ケリ





津島女子高等小  
學校 雜録 明  
治31年



校則類簿 明治  
22年 海東西  
郡高等小學校



職員任免録明治  
22年 海東西  
高等小學校



明治20年4月ヨ  
リ日誌 海東西郡  
第1高等小學校



明治25年  
日誌 津島學校



明治24年 校  
務日誌 兼平分  
校 七軒家分校

問⑥津島・藤里・有根の3つの尋常小学校と津島高等小学校が1つになってできた学校である。○か×か。

明治5年  
1872年

擇善学校 延命寺

春朗学校 雲居寺

抜奇学校 西福寺

明治8年  
1875年

擇善学校延命寺

明治9年  
1876年

津島学校

藤浪学校 兼平

有根学校

明治10年  
1877年

津島学校

第1分教場 (光淋坊) 第3分教場 (七軒家)  
第2分教場 (兼平) 第4分教場 (新開)

明治20年  
1887年

尋常小学  
津島学校

兼平分教場

七軒家  
分教場

# 津島市立南小学校の沿革史②

明治20年  
1887年

尋常小学  
津島学校

兼平分教場

七軒家  
分教場

明治24年  
1891年

濃尾大震災により、本校・分校の校舎が倒壊

明治25年  
1892年

津島尋常小  
学校

藤里尋常小  
学校

有根尋常小  
学校

明治39年  
1906年

津島尋常小  
学校

藤里尋常高  
等小学校

大正元年  
1912年

津島第一尋常小学校

津島尋常高等小学校

大正五年  
1915年

津島第一尋常高等小学校



# 南小の沿革史③

海東西郡共立陶成学校

明治13年  
1880年

第一高等小学校

前ヶ須分校

第二 蟹江

第三 甚目寺

明治20年  
1887年

海東西郡立高等小学校

蟹江分校

甚目寺分校

前ヶ須分校

明治21年  
1888年

海東郡立三十九ヶ町村組合立津島高等小学校

明治26年  
1893年

津島町外十二ヶ町村組合立津島高等小学校

津島女子高等小学校  
明治31年

明治36年  
1903年

津島町外四ヶ町村組合立津島高等小学校

明治40年  
1907年

藤里尋常高等小学校

明治42年  
1909年

津島尋常高等小学校

大正元年  
1912年

『問⑦ 明治の夏休みは10日間程度。○か×か』

■明治24年6月27日 土曜日 曇天

出席 男76名 女40名 計116名

欠席 男21名 女12名 計 33名

中島欠席 金63銭 授業料皆納ス 職員会 服部祖

父江二氏出張ス

■明治24年7月29日 水曜日 晴天

出席 男85名 女46名 計131名

欠席 男14名 女 5名 計 19名

当校生徒一同 前訓導服部岨次郎氏ヲ 姥ヶ森真マデ

送ル 永田清次郎本日ヨリ出勤ノ事

■ 8月11日より10日間 暑中休暇

8月21日 金曜日 本日ヨリ授業始ム

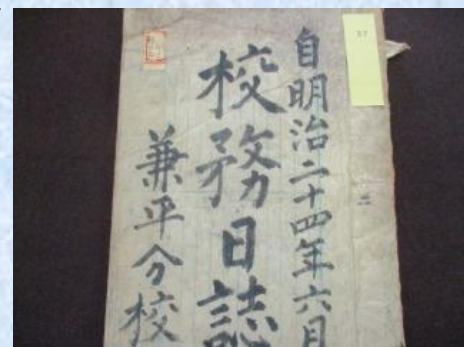
■明治24年10月28日 水曜日 晴天

大地震ニ付臨時休校ノ事

10月29日 30日 休校

11月 2日 本日ヨリ開校

『兼平分校 校務日誌より』





問⑧ 明治の「鵜多須切れ(大洪水)」では、子どもたちが登校した後で帰すことになった。○か×か。

『有根尋常小学校日誌』

明治30年9月30日 木曜日 晴天

本日当地祭礼山下シトテ 出席生徒三分ノ一ニ過ギズ 本日九時頃俄然入水ノ報ニ接ス 其ハ昨夜ノ強雨ノ為佐屋川増水遂ニ宇多須堤防決壊シ来シ止警報ニ接ス 依テ取敢ス全生徒ニ退校ヲ命ジ以後休業ス 本校職員岡本柘三郎右状況聞合ノ為津嶋ニ赴ク